

計画のテーマ、各地域のキャッチフレーズについて

1 計画のテーマ（サブタイトル）

『ヒト・モノの交流を促進し山形の未来を拓くみちづくり』

<説明（本文 p.81）>

- ・ 人口減少を克服し、人と地域が輝く「やまがた創生」の実現のためには、首都圏や諸外国を含めた県外との交流人口の拡大を図り、雇用や生活の維持・さらなる向上につなげることが重要
- ・ 道路は、都市間・地域間の交流、産業振興、観光振興など、ヒト・モノの交流を促進する、いわば山形の未来を拓く最も基本的なインフラ基盤

2 各地域のキャッチフレーズ

各地域のキャッチフレーズは、4ブロックの高速道路網の整備状況を踏まえ、今後10年間のみちづくりの大きな方向性を表現できるものとする。

(1) 村山地域

やまがたの産業・観光をリードする「村山」のみちづくり
～ 道路ネットワークの充実と多重性確保 ～

(2) 最上地域

広域的な交流・連携を見据え新たな活力を生み出す「最上」のみちづくり
～ 高規格道路十字連携軸の整備促進 ～

(3) 置賜地域

観光・産業・文化が息づくまち「置賜」のみちづくり
～ 首都圏・隣県との連携強化と地域間交流の活性化 ～

(4) 庄内地域

自然・文化・歴史をまもり地域産業をいかす「庄内」のみちづくり
～ 日本海沿岸地域と太平洋側を結ぶネットワークの形成 ～